

～調理中に衣類に着火した事例～

「はじめに」

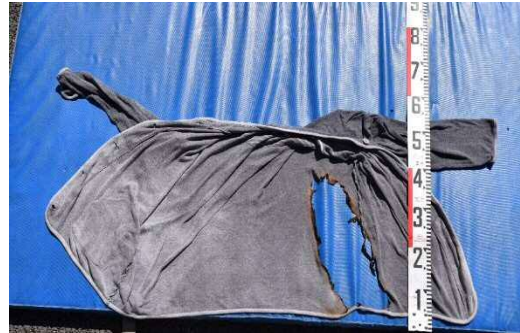
調理中のちょっとした不注意によって、ガスコンロの炎が着ていた衣類に着火してしまい、やけどを負ってしまう事例が多く発生しています。特に平成30年中については7件の火災が発生し、8人が負傷しています。

「出火原因について」

出火原因の多くは調理中に、別の作業をおこなっていたときや、ガスコンロ越しに、奥の物を取ろうとしたときなどに、ガスコンロの炎が着ていた衣類に着火してしまっただけが原因です。ガスコンロから目を離した際に発生しています。

「衣類の状況」

下記の写真は、着火した衣類の写真です。いずれの火災についても衣類が燃えただけではなく、体にはやけどを負ってしまいました。



「予防対策」

- 1 調理中、丈の長い衣類や袖の広い衣類は避けましょう。
特に秋口から冬の肌寒い時期には注意しましょう。
- 2 鍋の底から炎がはみ出ないように、火力を調整しましょう。
- 3 コンロの奥のものを取る際には、一度コンロの火を消しましょう。



火災を発見された方は、すみやかに119番へ通報してください。